

(4) 心理科学部

心理科学部は、21世紀の心の問題やコミュニケーション障害を抱えた人を身体的、心理的、社会的側面から総合的に理解した上で、科学的手法を用いて対処可能な専門職能人の養成を目的としている。

臨床心理学科は、「心の問題」への身体的側面からのアプローチとして、医科学・認知科学系の科目充実をカリキュラム上で図り、加えて臨床実習に力点を置き、心理の専門家としての臨床能力向上をめざす。

また、現代の国際化・情報化社会を考慮して、語学関連科目及び情報処理科目をカリキュラム上に多く配当し、幅広い教養を備えた専門職能人育成をめざしている。

心理科学部臨床心理学科 教育理念

本学の教育理念を基本として、現代科学技術の成果を認識し、心にかかわる自然科学と人文社会科学の連携による健康科学教育を推進する。生命の価値に対する倫理観を涵養し、心の障害、コミュニケーション障害を真摯に受け止めることが出来る知性と感性を備えた人材を養成することにより、人類の幸福に貢献することを心理科学部臨床心理学科の教育理念とする。

①文理が連携した教育を積極的に行う。

複雑な障害を有する人について、その構造と働きを理解するために生物科学、物質科学、人文科学、社会科学を連携させた教育を実践する。

②心とコミュニケーションにかかわる保健・医療・福祉からの研究教育を個性差を基盤として推進する。

近年、少子化・高齢化に伴い、心とコミュニケーションが関係する問題への対処法が求められ、他方では、生物・物質科学の進展に見合った一人一人の心理的幸福が求められている。これらの問題に対処するために、心の個性差を尊重した保健・医療・福祉の立場から科学的根拠に基づいた実践的な教育研究を推進する。

③生命の価値に対する真摯な倫理観を涵養する。

相互尊重・共生の価値観を共有し、人間として何をなすべきか、何をしてはならないかを判断できる倫理観を涵養する。

④心の障害、コミュニケーション障害を人の一生の出来事として受け止める。

障害への対処は、障害を起こさない生活環境の構築、障害に対する処置が完了した後の生活の質への配慮が欠かせない。そのために障害を一生の出来事として真摯に受け止める教育を実践する。

心理科学部臨床心理学科 教育目的

心理科学部臨床心理学科の教育理念に沿って、心にかかわる自然科学と人文社会科学が連携した教育を通して、生命の価値に対する真摯な倫理観を涵養し、心の障害、コミュニケーション障害を一生の出来事として受け止めることが出来る知性と感性を備えた公認心理師や産業カウンセラー、スクールカウンセラー等の心理学に関する専門的知識を修得した人材の養成を本学科の教育目的とする。

心理科学部臨床心理学科 教育目標

心理科学部臨床心理学科の教育理念・教育目的に基づいて、以下の教育目標を定める。

1. 心の障害、コミュニケーション障害に対処する心理専門職としての知識・技術の修得
2. 社会の変化、科学技術の進展に合わせて専門性を検証し、自己研鑽できる能力の育成
3. 予防的、治療的、予後的次元から様々な障害を見通せる能力の涵養
4. 生命の尊厳に対する専門性のかかわりを常に意識できる感性の育成
5. 地域的・国際的に貢献しうる学識と行動力の涵養

①文理を連携させた心に関わる個性差健康科学の樹立

今日、健康な生活は、心理的にも身体的にも個人を対象とするニーズが高まってきている。このニーズに応えるために、人が生物的存在であると同時に心理・社会的存在であることを考慮し、認知科学・神経科学・言語科学・社会科学を連携させた(文理連携)心理科学を基盤として個性差を対象とする教育体系を構築する。

②心・行動の障害に関する基礎的研究の実践

各分野の統合的教育・実践活動を通じ、それぞれの特性の基本・本質を追求する基礎的研究の充実を図る。特に心理科学からのアプローチを図る。

③地域的臨床心理援助への貢献

・心理臨床領域の高度専門職能人(公認心理師)養成を行う大学院との連携を図る。大学院には実践的な援助・支援活動を可能とするこころの相談センターを設置し、地域的支援活動を実践する。

・少子化に伴い乳幼児期の臨床が注目されていることから、発達臨床の相談機能を充実させ、言語発達とも連携させる。

④地域的・国際的な視野で実践的に活躍できる能力の形成

グローバル化時代に対応し、ICT(情報技術)を応用した、多文化との交流のための情報発信が可能な実践的英語力の習得を図る。

⑤実践的な情報処理技能の習得

インターネット・パソコン基本ソフトを活用でき、加えて初歩的なプログラミング力を持った実践的情報処理技能の習得を図る。

⑥情報発信能力の形成

専門領域に関して受身でなく、どのように関わるべきか、何をすべきかを具体的、国際的、地域的に情報発信できる能力の形成を図る。

⑦生涯学習の実践

・卒業生に対するリカレント教育を取り入れる。

心理科学部臨床心理学科 学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)

心理科学部臨床心理学科の教育目標に基づき、卒業のために以下の要件を満たすことが求められる。

1. 心の問題にかかわる職業人として必要な幅広い教養と専門的知識を修得している。
2. 社会の変化、科学技術の進展に合わせて、教養と専門性を維持向上させる能力を修得している。
3. 社会の様々な分野において、心の問題を評価し、それを適切に判断し援助できる基礎的技能を修得している。

心理科学部臨床心理学科 教育課程編成・実施の方針(カリキュラム・ポリシー)

心理科学部臨床心理学科の学位授与の方針に基づき、以下の方針のもとで教育課程を編成・実施する。

1. 1年次には、大学教育へのスムーズな移行を図るために、導入科目を配当する。また、健康・運動科学および情報化社会への対応

<p>科目も1年次に配当する。</p> <p>2. 豊かな人間性・自立性・創造性・協調性等を身につけるために、教養科目を1年次から2年次に配当する。また、社会のグローバル化・多文化化に対応する外国語科目を1年次から2年次に配当する。</p> <p>3. 1年次から3年次にかけては、身体科学と対応した心の基礎的な知識を身につけるために関連する医療基盤科目、医療系科目を配当する。</p> <p>4. 1年次より、専門教育科目の体系化・構造化を図り、臨床心理専門領域の理解・深化を目的とした科目を配当する。また、1年次から4年次にわたって、公認心理師受験資格取得科目を配当し、国家資格に必要な知識・技能の修得を図る。</p> <p>5. 2年次より、多様な職業分野へのキャリア形成を図るため、進路支援科目・産業心理科目を配当する。また、心理臨床の基礎的技術を修得するために、1年次から4年次にわたって、コミュニケーション科目・心理療法科目を配当する。</p> <p>6. 3年次以降は、専門演習、心理文献講読等の科目履修を通して、自らのテーマによって教養と専門性を維持向上させる研究を実践する。</p> <p>7. 学修成果を把握・評価するために、筆記試験、ルーブリックを用いたレポート、実技試験などを実施する。</p>
<p>心理学部臨床心理学科 入学者受入れの方針(アドミッション・ポリシー)</p> <p>心理学部臨床心理学科では、学位授与の方針の要件を修得し、社会の要請と期待に応じて地域や人々の健康の向上に貢献できる心理専門職の養成を目標としています。そのため、以下のような資質を持った人材を広く求めます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 生命を尊重し、他者を理解し、大切に思う心がある人 2. 心の問題に関心を持ち、他者を援助することに意欲を持っている人 3. 入学後の修学に必要な基礎学力*を有している人 4. 生涯にわたって学び、それを継続する意思を有している人 5. 心理学の専門家として地域社会ならびに人類の幸福に貢献するという強い目的意識を持っている人 <p>*基礎学力について 高等学校等で英語、国語等の履修により修得した基礎的知識に加えて、それらを活用し、自ら発展させていく意欲等を含むものをさします。</p>
<p>心理学部学生が修得すべき知識及び能力</p> <p>○ 臨床心理学科</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 心の問題にかかわる職業人として必要な幅広い専門知識 2. 社会の変化、科学技術の進展に合わせて、専門性を維持向上させる能力 3. 社会の様々な分野において、心の問題を評価し援助する基礎技術

○心理学部カリキュラムの特色

本学部の教育を効果的かつ有効に行うために、以下のとおり配当した。

1) 全学教育科目

教養教育、基礎教育および医療基盤教育科目で構成され、幅広く深い教養と豊かな人間性の涵養を大きく担い、大学で学ぶ力、専門性を支え、卒業後も地域ならびに国際社会で活躍できるための総合的人間力を身につける基盤をつくる。

- ・教養教育 … 人間性豊かな学識ある市民、専門職業人となるために、大学および生涯学習の技法を身につけ、人間理解力、幅広く深い教養と豊かな人間力を形成する。
- ・基礎教育 … 専門教育を受ける基礎を確立するために、専門的学問の基礎を身につける科目群である。専門の学問の体系を認識し、専門の学術を学ぶ方法の基盤を形成する。
- ・医療基盤教育 … 医療系総合大学として、複数の専門分野に共通する医療および福祉の基盤教育を複数の専門分野が協力して提供する。

2) 臨床心理学科 専門科目の考え方

- ・専門科目の核として、公認心理師受験資格取得に必要な心理学基礎科目を重点的に配当する。臨床心理学の実践的基礎として、アセスメント、実習にはできるだけ少人数指導が可能となるよう配慮する。
- ・心理学実験は心理学の基本科目であるので、少人数の指導ができるよう配慮する。
- ・科学的論理、自主的研究能力を養成するため、研究法、専門演習を配当する。
- ・専門科目の領域は、心理学基礎科目をはじめ、実践的知識と技術の習得を目指して、査定と援助、心理的障害、実習、及び公認心理師と臨床心理の基礎科目として、医科学、経験と成長、個人と社会、研究の諸領域とする。
- ・専門演習を経て、卒業研究では専門科目の教育を完成するものとする。
- ・学部の臨床心理技術として、臨床心理的査定の習得に特に配慮する。臨床心理士資格・公認心理師資格を持つ教員による指導を行う。

④心理科学部カリキュラム
 心理科学部(臨床心理学科)
 全学教育科目(2020年度一般入学生に適用;担当については当該年度開講科目のみ記載)

種類	科目区分	授業科目	担当	単位数		開講年次・時間数								備考					
						1年		2年		3年		4年							
						必修	選択	前期	後期	前期	後期	前期	後期		前期	後期			
教養教育	導入科目	基礎ゼミナール	西郷 ほか	2		30													
		文章指導	井上	2			30												
	教養科目	人間と思想	磯部	2			(30)												
			-	2				(30)											
		人間と文化	佐藤	2			(30)												
			-	2					(30)										
		人間と社会	薄井・姫嶋	2			(30)												4授業科目8単位以上修得
			金澤	2				(30)											
	自然と科学	原	2			(30)													
		鈴木	2				(30)												
	基礎教育	外国語科目	英語Ⅰ	ケイン ほか	1		(30)												2単位修得
			英語Ⅱ	ケイン ほか	1			(30)											2単位修得
初修外国語			松本 ほか	1					(30)										
			松本 ほか	1						(30)									
			県	1			(30)												
			-	1				(30)											
			-	1					(30)										
			永井	1			(30)												
			-	1				(30)											
			-	1					(30)										
阿部		1			(30)														
情報科学科目		情報科学	西牧	2				30											
	情報処理演習	西牧 ほか	1			(30)													
健康・運動科学科目	統計学	西牧	2				30												
	運動科学	山口 ほか	2				30												
医療基盤教育	医療基盤科目	多職種連携	中野 ほか	2			(30)												
		-	2										30						
		西郷	2			(30)													
	地域連携	-	2				(30)												
	-	2						(30)											
	磯部	2			(30)														
医療倫理	-	2				(30)													

以上、全学教育科目については27単位以上修得(うち必修12単位)
 *時間数を()に設定している授業科目は、複数の授業科目により行われる場合があることを示す。

専門教育科目(2020年度一般入学生に適用;担当については当該年度開講科目のみ記載)

種類	科目区分	授業科目	担当	単位数		開講年次・時間数								備考					
						1年		2年		3年		4年							
						必修	選択	前期	後期	前期	後期	前期	後期		前期	後期			
公認心理師科目	心理学基礎科目	公認心理師の職責	富家 ほか	2		30													
		心理学概論	安部	4			60												
		臨床心理学概論	本谷	2				30											
		心理学研究法	百々	2			30												
		心理学統計法Ⅰ	福田	2			30												
		心理学統計法Ⅱ	-	2					30									*	
	心理学発展科目	心理学実験	-	2					90										*
		知覚・認知心理学	-	2				30											
		知覚・言語心理学Ⅰ	福田	2			30												
		学習・言語心理学Ⅱ	-	2					30										
		感情・人格心理学Ⅰ	-	2					30										
		感情・人格心理学Ⅱ	-	2						30									
		神経・生理心理学Ⅰ	-	2					30										
		神経・生理心理学Ⅱ	-	2						30									
		社会・集団・家族心理学	真島 ほか	2			30												
		発達心理学Ⅰ	-	2					30										
		発達心理学Ⅱ	-	2						30									
		障害者・障害児心理学	-	2						30									
	心理的アセスメント	-	2	4				60										*	
	心理学的支援法Ⅰ	-	2							30									
	心理学的支援法Ⅱ	-	2								30								
	実践心理学	健康・医療心理学Ⅰ	-	2						30									
		健康・医療心理学Ⅱ	-	2							30								
		福祉心理学	-	2								30							
教育・学校心理学Ⅰ		-	2								30								
心理学関連科目	教育・学校心理学Ⅱ	-	2								30								
	司法・犯罪心理学	-	2									30							
	産業・組織心理学	-	2									30							
	人体の構造と機能及び疾病Ⅰ	下村	2			30													
実習演習科目	人体の構造と機能及び疾病Ⅱ	下村 ほか	2				30												
	精神疾患とその治療	-	2						30								*		
関係行政論	-	2									30								
心理演習	-	4										120							
心理実習	-	2												90					
臨床心理専門科目	研究	専門演習Ⅰ	-	2										60					
		専門演習Ⅱ	-	2											60				
		専門演習Ⅲ	-	2												60			
	専門基盤科目	心理文獻講義Ⅰ	-	2												30			
		心理文獻講義Ⅱ	-	2												30			
		心理情報処理	-	2									30						
		心理科学基礎Ⅰ	齋藤	1			15												
		心理科学基礎Ⅱ	-	1				15											
		心理科学基礎Ⅲ	-	1					15										
		心理科学基礎Ⅳ	-	1						15									
		ジェンダー論	-	2						30									
		環境心理学	-	2							30								
		心理学の歴史	-	2								30							
		臨床心理学特別講義Ⅰ	-	2										30					
		臨床心理学特別講義Ⅱ	-	2											30				
	ソーシャルワーク概論	-	2											30					
	コミュニケーション科目	コミュニケーション実践論Ⅰ	石垣	2			30												
		コミュニケーション実践論Ⅱ	石垣	2				30											
コミュニケーション実践論Ⅲ		-	2							30									
心理療法	心理療法の実際Ⅰ	-	2								30								
	心理療法の実際Ⅱ	-	2									30							
	心理療法の実際Ⅲ	-	2										30						
	心理療法の実際Ⅳ	-	2											30					
進路支援科目	キャリア・プランニングⅠ	-	2					30											
	キャリア・プランニングⅡ	-	2						30										
	キャリア・プランニングⅢ	-	2							30									
	キャリア・プランニングⅣ	-	2								30								
医療系科目	医学総論	中野	1				15												
	内科学	-	2						30										
	遺伝学	-	2								30								
	脳科学	-	2									30							
	公衆衛生学	-	2										30						
産業心理科目	小児科学	-	2										30						
	行動経済学	-	2											30			*		
	労働安全衛生論	-	2												30				

以上、専門教育科目については101単位以上修得、全学教育科目と合わせて128単位以上修得(必修53単位・選択75単位以上)口